

PDF

■ Q 1 0 . 魚は口が下や上についていますがどちらが便利ですか？

■ A 1 0 .



魚の口はよく見ると、上についていたり、下についていたりしています。

メダカは口が上についていますが、カマツカやドジョウは口が下についています。どちらが便利かと言う問いについては、どちらも便利だというのが適当です。それは、それぞれの魚が、それぞれに適した口で餌をとっているからです。

メダカはいつも水面近くを泳いでいますが、水面近くを流れてくる小さな落下昆虫や、動植物性プランクトンをよく食べます。水面にそって口が開いているので、餌をとりやすくなっています。

それに対して、カマツカやドジョウは、普段底を這って（はって）いて、下についている口で餌を探します。特にカマツカは、口を長く伸ばして底砂を口に含み、砂の中にもぐっている餌（ミミズなどの底生動物）をとります。その際口に含んだ砂は、鰓（えら）から吐き出します。

ドジョウは、口の周りに10本のひげがあり、砂利や泥の中にそのひげをつっこみ餌を探してとらえます。

魚はそれぞれに適した口がついているのです。

[| 淡水魚Q & Aのメニューにもどる |](#)

デジタル化 神戸の自然シリーズ 20 神戸の淡水魚 メニューへ